



# 2023年3月期決算説明資料

2023.5.9



愛と喜びのある食卓をいつまでも

Lasting love and joy at your table



St.Cousair



久世福商店

KUZE FUKU & Co.



KUZE FUKU  
&  
SONS®

## ハイライト

- 当連結会計年度の売上高は17,865百万円（前年同期比+26.1%）、営業利益は1,599百万円（同+21.5%）と増収増益を達成。
- 上半期において原材料・商品調達価格の上昇及び円安等による利益悪化の影響を受けるも、商品値上げにより利益率が改善。年末年始から4Qにかけて客数が増加し、4Q営業利益は前年同期比+70.2%と大きく増益。
- 店舗チャネル売上高は、直営（前年同期比+19.9%）及びFC（+23.0%）ともに堅調な伸び。商品値上げによる既存店（※）客単価の上昇に加え、既存店客数も4Qで伸長。新規出店は計画通りに進捗し、店舗数は前連結会計年度末と比較して11店舗増加。
- EC（前年同期比+20.5%）及びホールセール（+29.7%）の売上高はいずれも安定した成長。
- グローバル（前年同期比+153.9%）の売上高が大きく成長。米国（+154.5%）及び台湾（+186.0%）が高成長を牽引。
- 2022年12月に東証グロース市場に上場。1,987百万円の公募増資資金を調達し、当連結会計年度末の自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末20.9%）と大きく改善。

※当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

## 連結業績概要

- 売上高、各段階利益において増収・増益を達成。
- 上半期において原材料・商品調達価格の上昇及び円安等による利益悪化の影響を受けるも、調達価格が上昇した商品の値上げを行い、売上総利益率が改善。年末年始から4Qにおける客数増加が寄与し、4Q営業利益は前年同期比+70.2%と大きく増益。

単位:千円	通期(2022/4~2023/3)			4Q(2023/1~2023/3)		
		前期実績	前年同期比		前期実績	前年同期比
売上高	17,865,650	14,165,059	+26.1%	4,682,521	3,668,625	+27.6%
売上原価	10,835,575	8,384,034	+29.2%	2,857,725	2,259,661	+26.5%
売上総利益	7,030,074	5,781,025	+21.6%	1,824,796	1,408,964	+29.5%
売上総利益率	39.3%	40.8%	▲1.5pt	39.0%	38.4%	+0.6pt
販管費	5,430,285	4,464,570	+21.6%	1,403,190	1,161,237	+20.8%
営業利益	1,599,789	1,316,454	+21.5%	421,606	247,726	+70.2%
営業利益率	9.0%	9.3%	▲0.3pt	9.0%	6.8%	+2.2pt
経常利益	1,620,612	1,322,512	+22.5%	412,666	236,265	+74.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,058,878	939,053	+12.8%	269,736	242,313(※)	+11.3%

※前期は、人材促進税制控除額30百万円及び期末配当による留保金課税額の減少45百万円等の法人税等の減少影響を含んでおります。

## 四半期連結業績

2Qで原材料・商品調達価格の上昇及び円安等により利益が悪化したが、その後の値上げ実施により3Q及び4Qにかけて利益率が改善。

単位:千円	2023年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,198,020	100.0%	3,929,212	100.0%	5,055,894	100.0%	4,682,521	100.0%
売上総利益	1,728,763	41.2%	1,502,712	38.2%	1,973,802	39.0%	1,824,796	39.0%
営業利益	444,886	10.6%	223,073	5.7%	510,222	10.1%	421,606	9.0%

### 【参考】前連結会計年度

単位:千円	2022年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	3,038,023	100.0%	3,154,253	100.0%	4,304,157	100.0%	3,668,625	100.0%
売上総利益	1,256,263	41.4%	1,355,158	43.0%	1,760,638	40.9%	1,408,964	38.4%
営業利益	262,915	8.7%	302,264	9.6%	503,547	11.7%	247,726	6.8%

## 販売チャネル別売上高

- 店舗(直営・FC)…… 原材料・商品調達価格を値上げによって吸収した結果、既存店(※)客単価が伸長。  
年末年始から4Qにかけて既存店客数も堅調に推移。  
新規出店は計画通りに進捗し、店舗数は前連結会計年度末と比較して11店舗増加。
- EC …………… メディア効果とギフトブランド認知の高まりにより、前年同期比+20.5%と伸長。
- ホールセール …………… 大手小売チェーンへの販売が拡大し、前年同期比+29.7%と成長。
- グローバル …………… 米国での新規顧客拡大、台湾での大手小売チェーンへの販売拡大により、前年同期比+153.9%と大きく成長。

単位:千円	通期					4Q(2023/1~2023/3)		
		構成比	前期実績		前年同期比		前期実績	前年同期比
				構成比				
直営	6,547,112	36.6%	5,458,616	38.5%	+19.9%	1,776,123	1,413,131	+25.7%
FC	6,239,748	34.9%	5,073,624	35.8%	+23.0%	1,673,964	1,256,264	+33.2%
EC	1,095,268	6.1%	909,209	6.4%	+20.5%	262,435	192,321	+36.5%
ホールセール	3,060,147	17.1%	2,359,977	16.7%	+29.7%	748,356	716,186	+4.5%
グローバル	923,373	5.2%	363,631	2.6%	+153.9%	221,642	90,721	+144.3%
合計	17,865,650	100.0%	14,165,059	100.0%	+26.1%	4,682,521	3,668,625	+27.6%

※ 当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

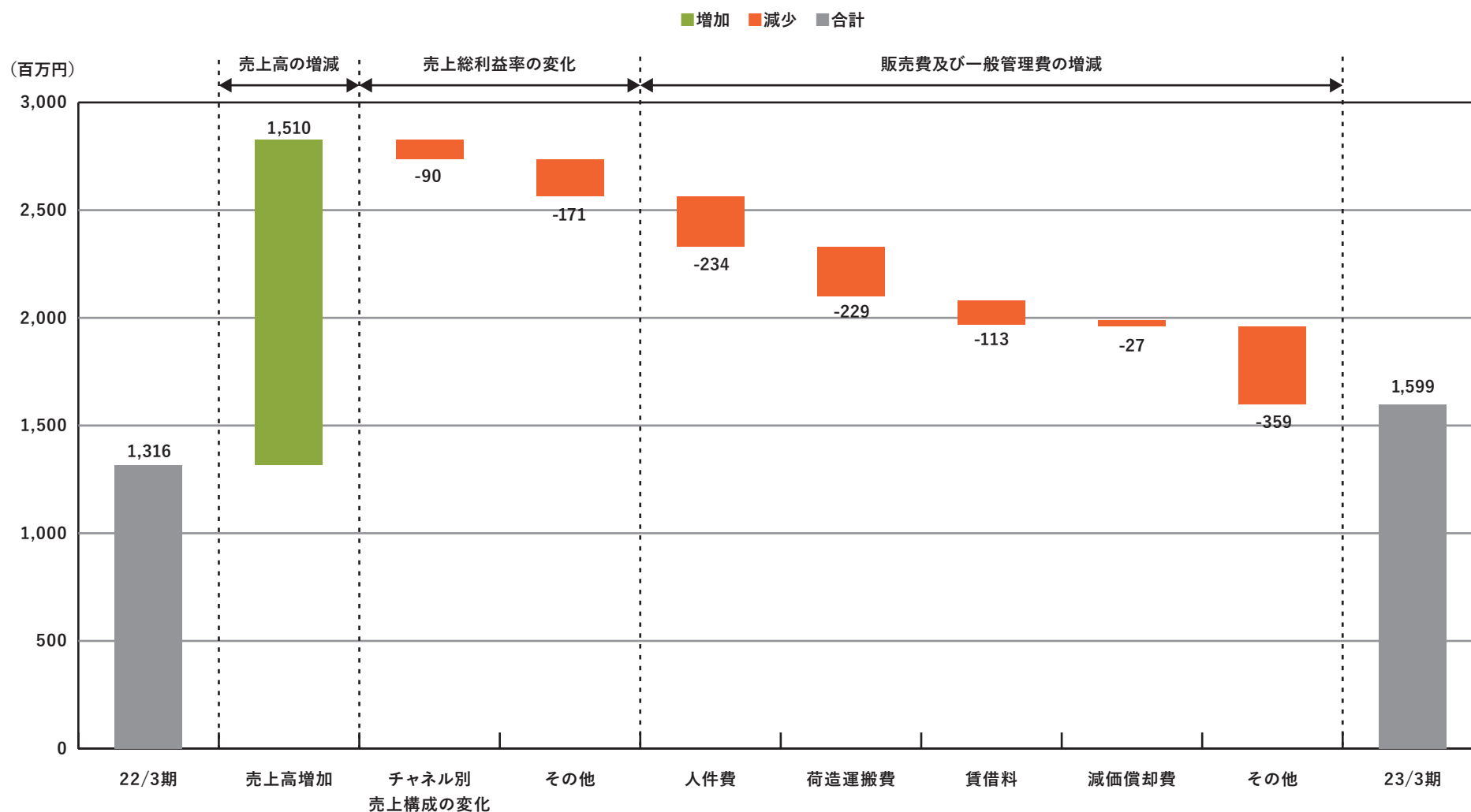
## 販管費の状況

- 直営売上高の構成比が前年同期比で減少し、人件費の売上高比率が低下。同じく直営店舗家賃を主な内容とする賃借料の売上高比率も低下。
- 荷造運搬費は、売上高の増加に比例して増加。
- 上記のほか、直営店運営に係る店舗運営費、国内外出張に係る旅費交通費、マーケティング関連費用等の増加に加えて、上場準備関連の費用を計上したことで、販管費「その他」が増加。

単位:千円	通期					4Q(2023/1~2023/3)		
			前期実績		前年 同期比			前年 同期比
		売上高 構成比		売上高 構成比		前期実績		
人件費	2,226,097	12.5%	1,991,174	14.1%	+11.8%	568,656	526,511	+8.0%
荷造運搬費	1,054,603	5.9%	825,224	5.8%	+27.8%	251,352	207,583	+21.1%
賃借料	648,082	3.6%	534,280	3.8%	+21.3%	175,953	140,519	+25.2%
減価償却費	169,898	1.0%	141,939	1.0%	+19.7%	51,692	47,651	+8.5%
その他	1,331,604	7.5%	971,951	6.9%	+37.0%	355,535	238,971	+48.8%
合計	5,430,285	30.4%	4,464,570	31.5%	+21.6%	1,403,190	1,161,237	+20.8%

## 連結営業利益 前年同期比

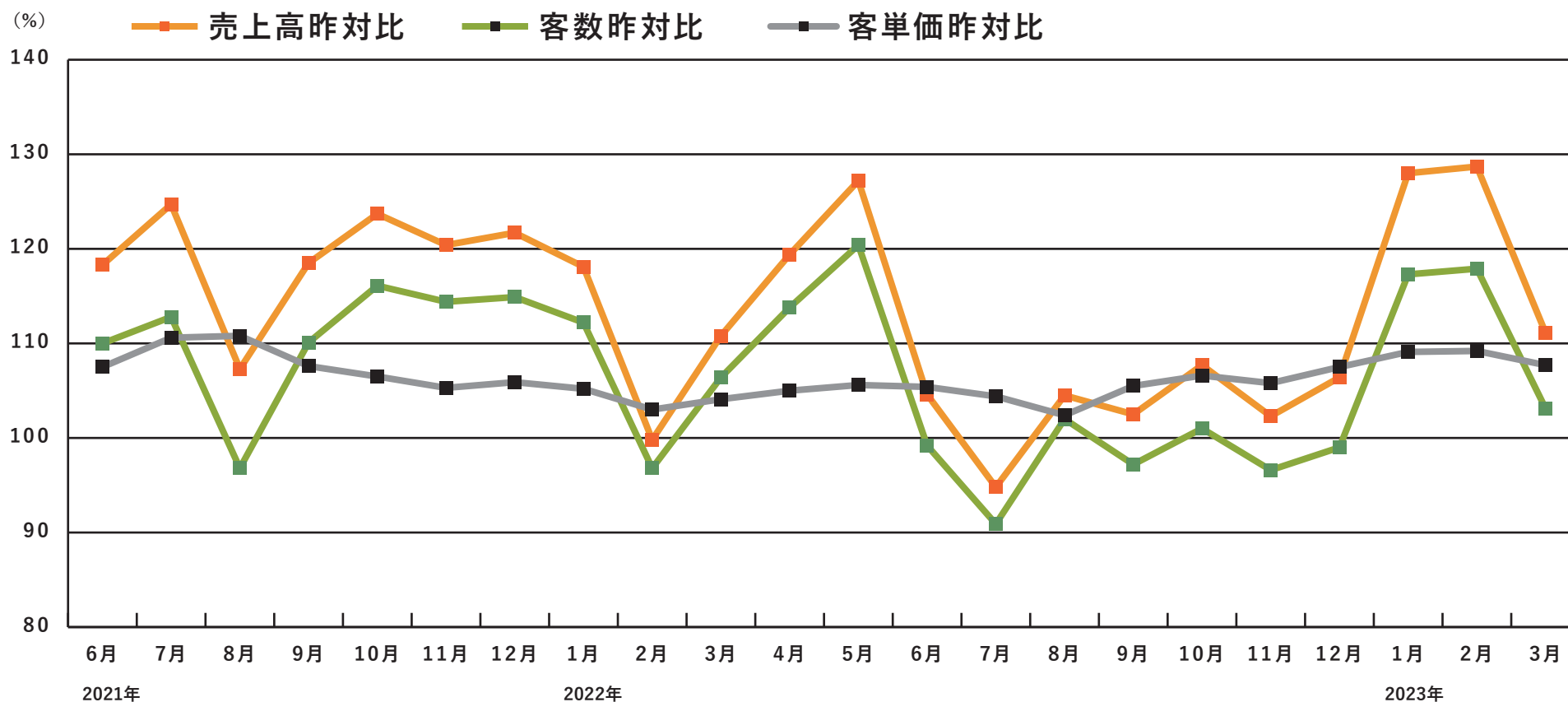
- 原材料・商品調達価格の上昇及び円安等の影響が売上総利益率の悪化要因となるも、商品価格の値上げにより、下半期は調達価格の上昇影響をほぼ吸収。
- 各販売チャンネルにおける売上高の増加が寄与し、営業利益は前期比で283百万円増加。





## 既存店(※)売上高・客数・客単価推移

- 既存店客数は、2Qから3Qにかけて、旅行需要の回復やインフレによる食品支出抑制の動きが見られたものの、軽微な減少にとどまる。年末年始から4Qにかけては再び上昇基調。
- 既存店客単価は、1購買当たり購入点数の増加、商品価格の値上げにより、前年同期を上回って推移。
- 以上の結果、既存店売上高は、概ね前年同期を超える水準を維持。



※当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。

## 業態別店舗数

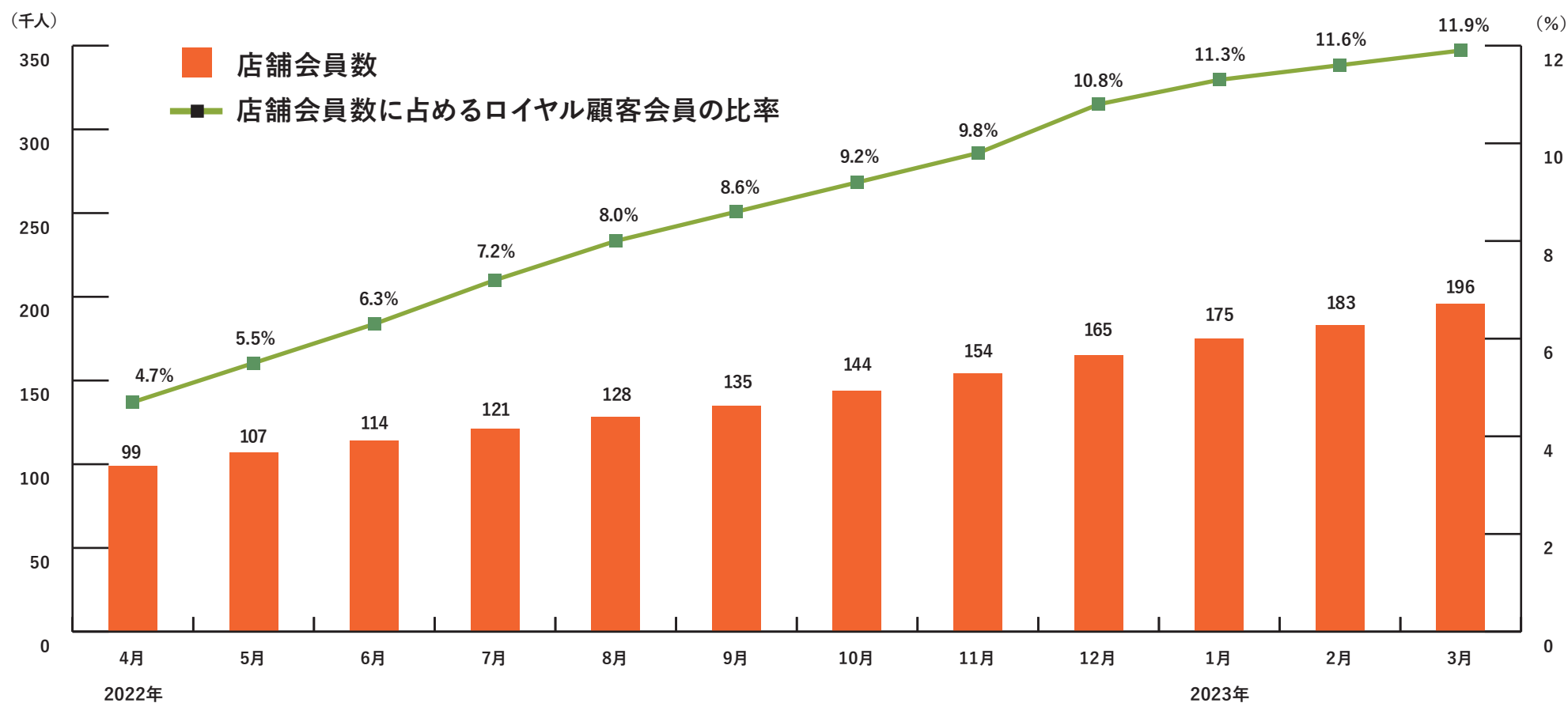
- 当連結会計年度において、サンクゼール業態1店舗(直営)、久世福商店業態10店舗(直営1店舗、FC9店舗)の計11店舗を新規出店。当連結会計年度における退店は無し。
- 期中に直営5店舗をFCへ、FC1店舗を直営へそれぞれ運営主体の切り替えを実施。下表では直営の減少(増加)とFCの増加(減少)として記載。

単位:店舗		2022年 3月末 店舗数	2023年3月末(2022/4~2023/3)		
			出店	退店	店舗数
サンクゼール業態	直営	11	1	-	12
	FC	4	-	-	4
	合計	15	1	-	16
久世福商店業態	直営	42	2(※2)	5(※1)	39
	FC	90	14(※1)	1(※2)	103
	合計	132	16	6	142
全業態合計	直営	53	3	5	51
	FC	94	14	1	107
	合計	147	17	6	158

※1. 直営からFCへ運営主体の切り替えを行った5店舗を含んでおります。 ※2. FCから直営へ運営主体の切り替えを行った1店舗を含んでおります。

## 店舗会員数・ロイヤル顧客比率

- 2021年4月に公式アプリを開始。以降、同アプリに登録しているお客様の数は、安定して増加。
- 当社のファンとなっただけのお客様を増やすために、自社小売店舗でのヒアリングやアンケートを通じてお客様のニーズを深掘り。店舗会員数に占めるロイヤル顧客の比率が上昇中。



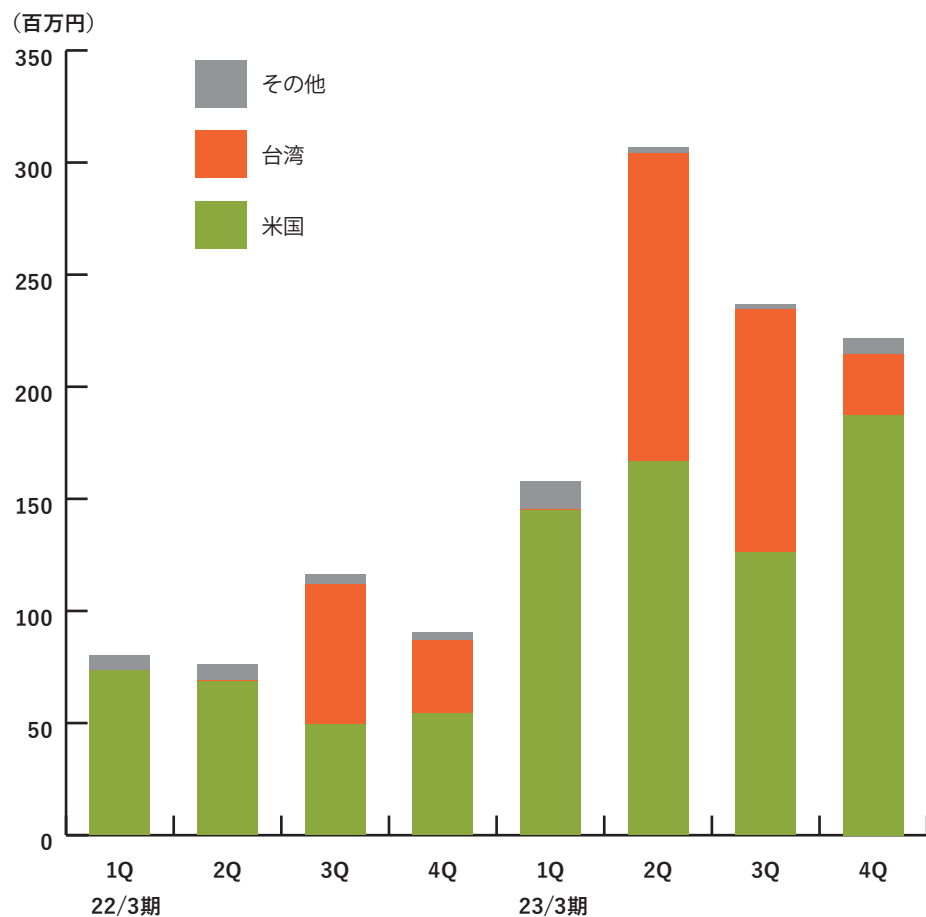
※1. 左のグラフはEC会員を含まない店舗をご利用いただいているお客様会員数を示しております。

※2. 当社公式アプリにご登録いただいているお客様会員のうち、基準日(各月末)から起算して7ヶ月間の購入金額の合計金額が当社が定める基準金額を超えるお客様会員を「ロイヤル顧客」と定義しております。

## グローバルの状況：国別売上高

当連結会計年度の国別売上高は、米国向け売上は前年同期比+154.5%、台湾向け売上は同+186.0%とそれぞれの地域で大きく成長。

### ■ 国別売上高



### ■ ハイライト

#### 米国

- 取引先チェーンへ当社オリジナル棚仕器を導入して販売する施策が奏功。
- 米系大手小売チェーンや日系小売チェーンに対する売上が伸び、4Q売上高は3Q比+48.6%の増加。

#### 台湾

- 前期に続き、8月及び12月に米系大手小売チェーンが実施する販促イベントに商品が採用され売上が増加。当該イベントの季節性により、2Qと3Qで売上が伸長。

#### その他

- 第1四半期連結累計期間にオーストラリアの大手小売チェーンとの取引を開始。

※最終販売国別に集計しております。

## 貸借対照表

- 東証グロース市場への上場に伴って実施した公募増資により1,987百万円を調達。
- 売上高の増加により、売掛金及び棚卸資産が増加。

単位:千円	2022年 3月末	2023年3月末	
			前期末比
現金及び預金	1,249,371	3,317,671	+165.5%
売掛金	1,408,708	1,728,233	+22.7%
棚卸資産	1,394,197	1,635,730	+17.3%
その他流動資産	108,126	132,815	+22.8%
貸倒引当金	▲66	▲92	—
流動資産合計	4,160,337	6,814,358	+63.8%
固定資産合計	2,304,114	2,360,079	+2.4%
資産合計	6,464,452	9,174,438	+41.9%
負債合計	5,108,670	4,948,426	▲3.1%
純資産合計	1,355,782	4,226,011	+211.7%
自己資本比率	20.9%	46.0%	+25.1pt

## ROIC・ROE

- FCを中心とした新規出店に加え、EC・ホールセール・グローバルの店舗以外のチャネルの売上高が成長していることで、高いROICを実現。

### ■ROIC(当連結会計年度)

19.1%

#### 計算式

営業利益 × (1 - 実効税率)

──────────  
(株主資本 + 有利子負債) (※)

### ■ROE(当連結会計年度)

28.0%

#### 計算式

親会社株主に帰属する当期純利益

──────────  
自己資本 (※)

※前連結会計年度末と当連結会計年度末の期中平均により算定しております。

# 2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期の連結業績予想は以下の通り。

## ■ 連結業績予想

- 売上高:10%以上の成長率を每期継続することを長期持続的な成長率の目安としている。
- 営業利益:売上高が増加する一方で、持続的な成長に向けてファン醸成のためのマーケティング費用、賃金上昇を含む。人的投資充実化を計画。結果営業利益は5.1%の成長を予想。
- 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益:2023年3月期実績に含まれる特殊要因を除くことで、成長率はそれぞれ2.5%、3.5%と予想。

単位:百万円	2024年3月期		
		2023年3月期実績	前年同期比
売上高	19,711	17,865	10.3%
営業利益	1,681	1,599	5.1%
営業利益率	8.5%	9.0%	—
経常利益	1,661	1,620	2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,096	1,058	3.5%

## ■ 販売チャネル別売上高予想

- 直営及びFC… 既存店売上高昨対比104%、新規出店はFC10店舗を計画。直営は2023年3月期に5店舗をFCに運営を切り替えたため、若干のダウン予想。新業態「MeKEL(メケル)」について、直営1店舗の出店を計画。
- EC…………… ファン顧客の拡大による安定成長を予想。
- ホールセール… 主要得意先に対して2023年3月期に採用された商品の通期販売による成長を予想。
- グローバル…… 米国における商品配荷店舗数の拡大、台湾における主要顧客との取引金額増加を予想。

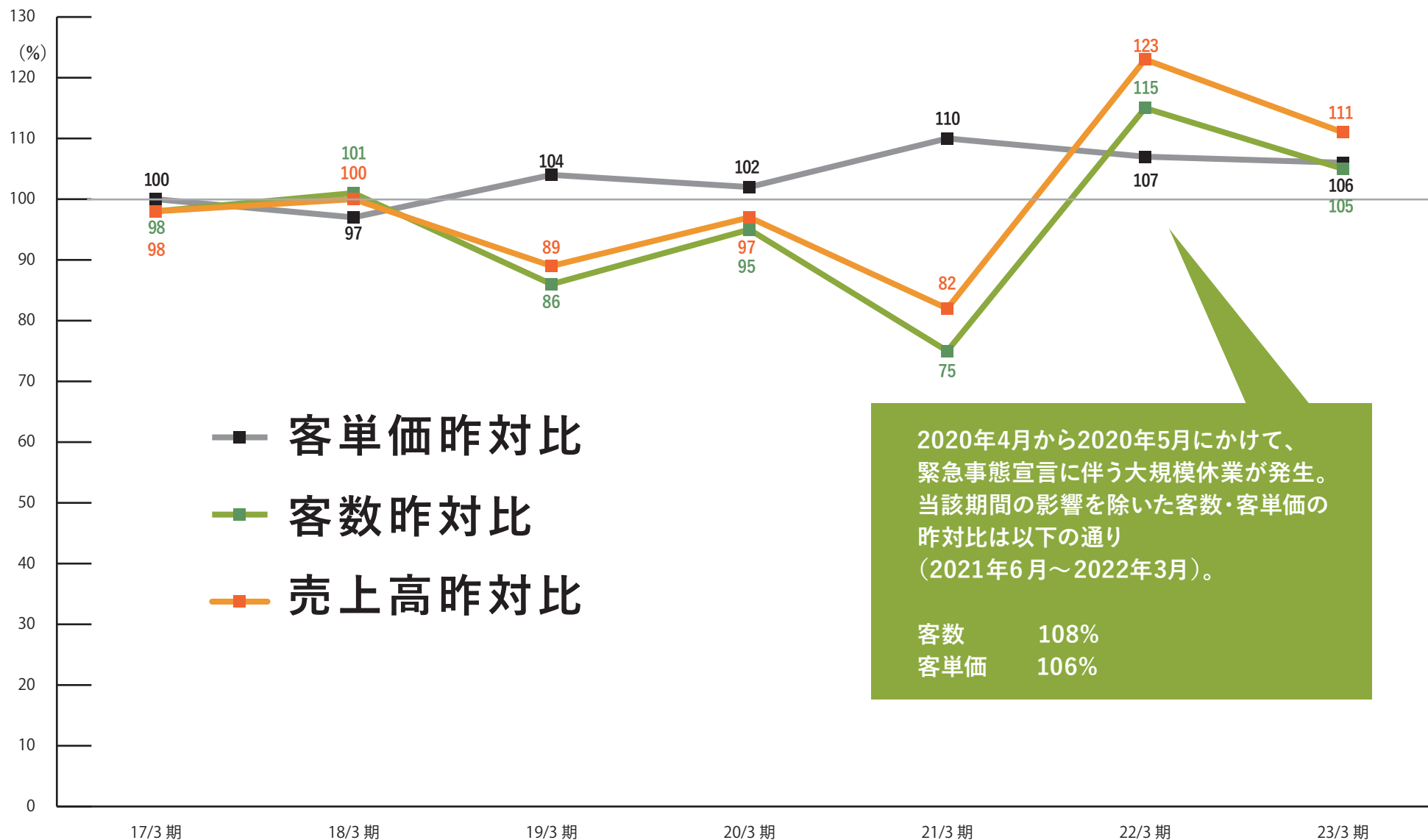
単位:百万円	2024年3月期		
		2023年3月期実績	前年同期比
直営	6,382	6,547	-2.5%
FC	7,133	6,239	14.3%
EC	1,264	1,095	15.4%
ホールセール	3,399	3,060	11.1%
グローバル	1,530	923	65.7%
合計	19,711	17,865	10.3%

## ご注意事項

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さいますよう、お願いいたします。



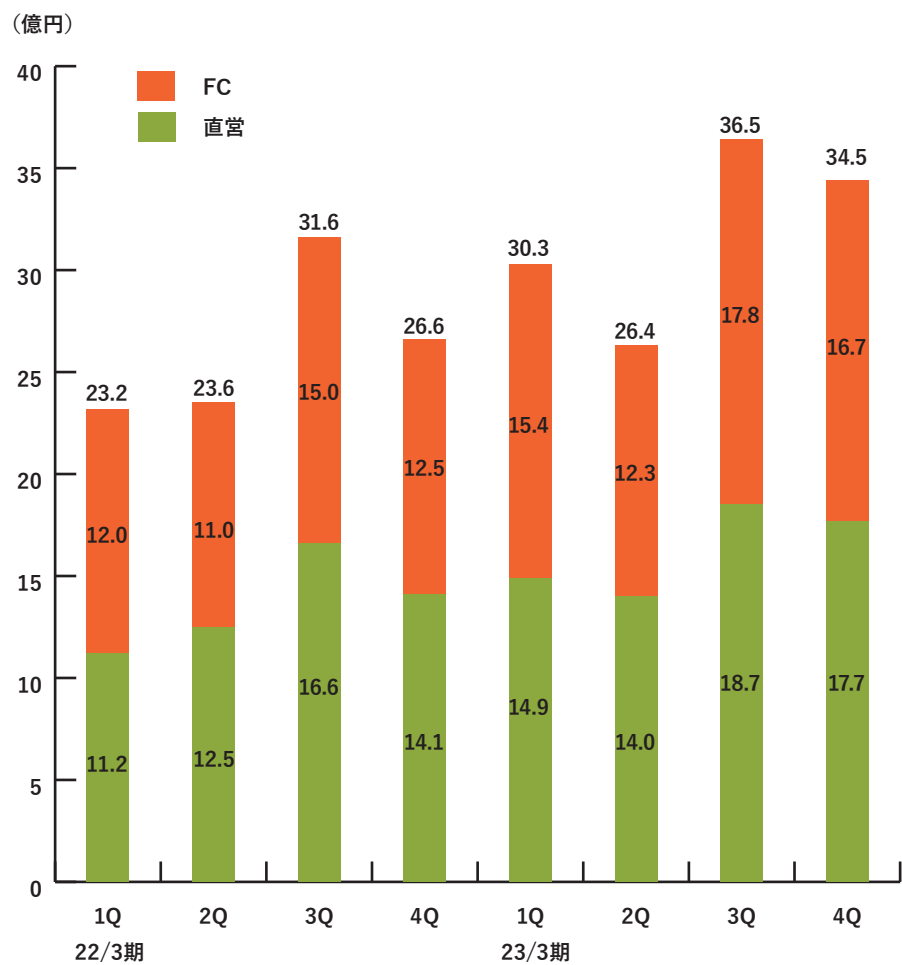
## 既存店(※1・2)売上高・客数・客単価昨対比



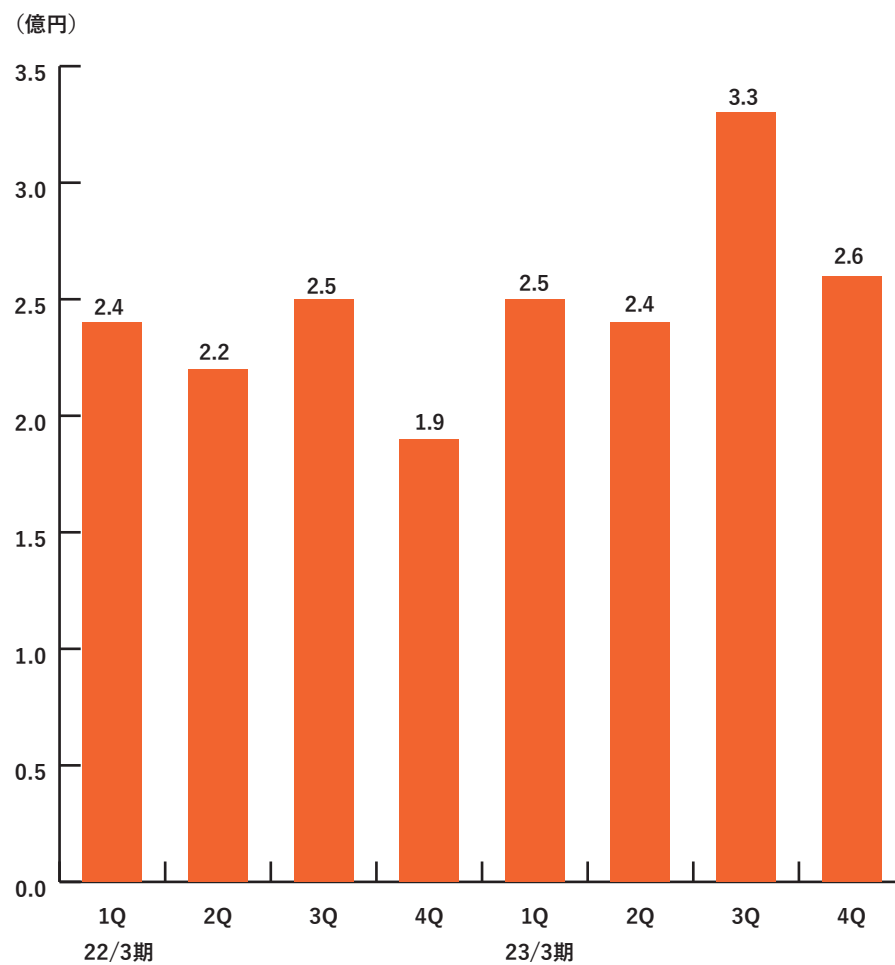
※1.当社グループは、開店後18か月以上経過した店舗を「既存店」としております。 ※2.各年度期首で開店後18か月以上経過している店舗を対象に売上高・客数・客単価の昨対比を計算しております。

# 販売チャネル別実績（店舗・EC）

## ■ 四半期売上高（店舗）

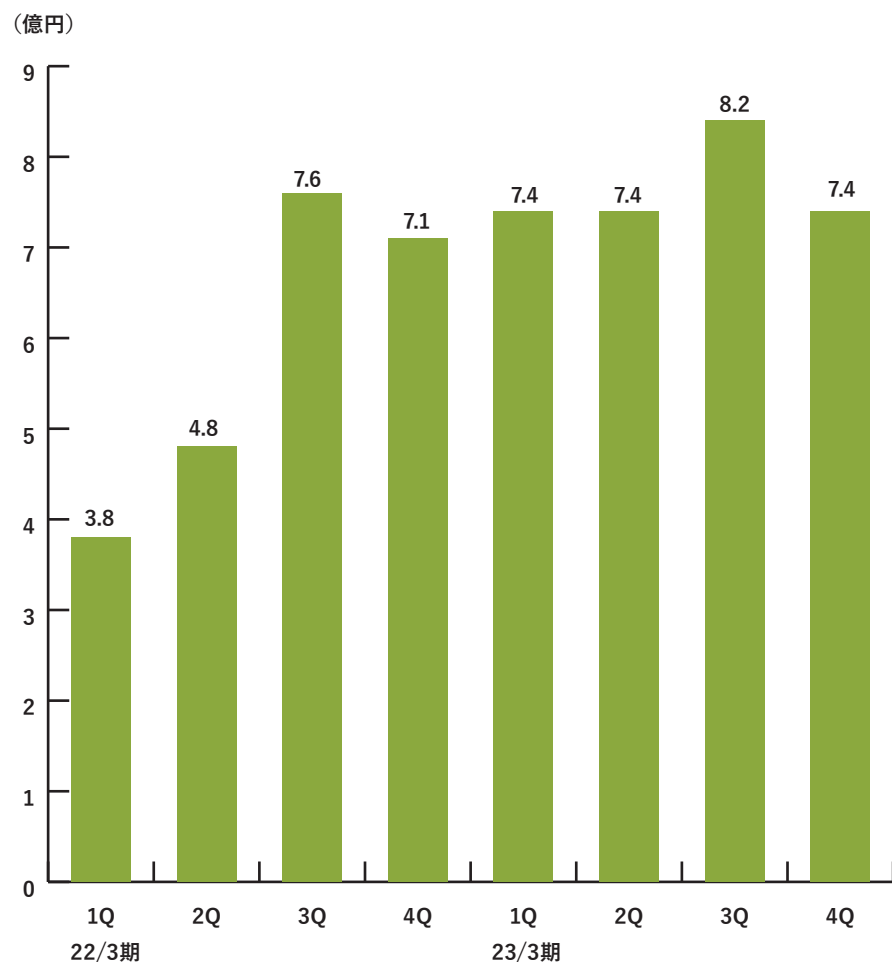


## ■ 四半期売上高（EC）



## 販売チャネル別実績（ホールセール・グローバル）

■ 四半期売上高（ホールセール）



■ 四半期売上高（グローバル）

